

北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料

2015年4月25日 謁見収録 No.02

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

2020年ぐらいまでは最低、日本は金をもうける一番楽な場所や・・・それを超えたときに政権の問題とかさ、当然、為替の問題とか出てきて、もうかった金はやっぱり海外に飛ばしておいたほうが安全。自分の遊び場さえ持っとればね。だから、俺はこの前も言ったように4枚ほどカードを持って1枚パンクしたからね 笑 日本にはもういられない 笑 どこで遊ぶかやね？

メンバー：

海外で、作ったのって実績があるような感じでつくって・・・

北野会長：

例えば今、ジョホールバルは今、営業所を出したと、賃貸をかけたと、これから何をするかを決めていくと。まず一番簡単な商売っていうのは何かいうと、あんたがさっき言った会社で株をやるがやて。これが一番簡単なの。ipad1個でできるがやからね

メンバー：

とりあえずどこの国でも・・・

北野会長：

どこの国でもできる、何十年前にそういうことを考えてこういうことをやっとな

メンバー：

株の売買を考えて・・・

北野会長：

一番楽ね、だから株は。仕入れにボタン一つやる？売りもボタン一つ。伝票はちゃんとプリントアウトしてくれるやろ？こんないい産業はないよ。さっき孔明さんが言ったさ、文章を打たんでもいいやろ？文章を打つっていうことは頭でやっぱり組み立てんならんやろ？株は、たださ、仕入れて売るだけやから。だから言うたと思うんやけど、株が動かない時は両建てするんやから・・・俺の場合。買いと売り。350円で買い、350円で売り・・・両建てをしておくが。これは毎日、絶対にもうかるんやから。上がったものを売って、下がったものを売らないと。だから、バンカープレイヤーとは違う。バンカープレイヤーの博打とは違う。博打は負けたほうは全部なくなるやろ？株は全然違う・・・残っとるんや。だから金になるっていうのはこういうこと。だから、これを毎日ゲームとしてやっとなから・・・まあ遊びや。あとは三寒四温で3日、下げたらなるべく玉を買い集めて待っとるんやて。大体、あれからずっとそうやってとるはずだから。この経済が今、ゆうちょが入ってきてどれだけあと株を押し上げるのか？でも、一番もうかるのは日銀のおじさんが独り占め・・・全部持っていくが・・・僕たちはスズメの涙ほどもらうと。だから半端者やんから、あとは借入という材料を金にしていかなと。それだけさ。資金があればこのビルでも買えるんよ・・・あんたたち、ここ覚えとて。この野心的な話やけど、これでも買えるんやから。金さえあれば。そう考えたら結構おもしろい人生でない？そういう

ことをみんなラスベガスのおじさんらち考えてやっとなるわけやろ？だから、我々もやっぱりその域に、向うはさ、100億言うとするんやからね。100億出す・・強いやの・・言うところが。誰にもそれが動揺せんだがやね。「あんたの案件に1人100億だって・・」そんな感じやもんね。ということはやっぱりそれだけの何十億かの弾を持っとなるから100億がさらっと軽いやろね

メンバー：

はい

北野会長：

なるべく無駄遣いせんと稼いでさ、金は持っとなったほうが人生楽しいよ。孔明さんみたい、集めてもばんばんと弾いたら終わりやから。あんたは弾かにやたまる。前から順番にとって飲んだらええ（酒）

真田 孔明：

はい

北野会長：

本当に難しいことや・・成功ちゃ

真田 孔明：

ある程度いってもまたそこから上に行こうとするとまた弾を突っ込みたくなっちゃうんですよ

北野会長：

そうそう、もっとね高いゲームをかけようとするがやて・・そうすると一瞬にしてどん

真田 孔明：

一瞬にしてどん・・本当に

北野会長：

いいご先輩がおっから大丈夫や。笑 後者の戒めになっていいかもしれんよ？ただ、産業自身はいくら伸ばしてもお金にはならんのやて・・覚えておいて。法人税をいくら払ってもそこにお金っていうのは残らんの。せいぜい給料、給料をもらっても高くなるほど源泉税はどんどん出てくから。だから、思い切って山を踏むっていうのはどこかで山をつかむか、もしくは長生きするかやね？経理しとる人は笑っておる・・これしかないやね？

メンバー：

はい

北野会長：

僕はどちらも勝負するタイプやから・・・あとは逃げると。笑　あとは日本の国が遠くなったらビザもとったしね。逃げる体勢はできとるよ。何が大事やいうても体勢づくりよ。盤石な体制をつくると・・・1人で投信5億、10億と持てば、もうそんなにいっぱい金っていうのは使いようがないから・・・使いようがない、体が元気なら別やけど。それと、金っていうのはだから反比例するがやて・・・きっと。最近そう思っとるがやて。歳いったら体が弱ってくっから使えなくなってくるやろ？貯蓄も投信は毎月、張っとるやん。それも全然、興味がなくなるともっとふえる。あれ「もういいわ」言うて全部再投資のボタンを押してほかっておけ。そうするとどんどんふえてる。だから、動くな、働くなっていうのはこういうところや。長年、こういうばかなことをしてゲームをやってきてね、昔は野村の投信、野村に3%の手数料、それも東京でないととれなかった。今は3%を払わんでも楽天でじゃんじゃんとれるわけや。甘いやつだけピックアップして・・・今はいい時代になった。日本の政府が認めておるんやから。個人が金融センターになってもらわにゃ。もうけた金が1,700兆ほどあるがやと

真田 孔明：

うん

北野会長：

だから、政府が貸し出しするととりっぱぐれが多い。日本の場合は貸しとるいうてもアメリカの父ちゃんは借金は返さんやろ？新興国は返す、返すいうとるものの利息を払うのにいっぱい。こういう現状からやっぱり日本は個人にもうけさせて個人から20%づつ。あんたらちは四の五の言わんでどんどんと配当金でて・・・もう逃げようがねえ。だから、俺が思うのはやっぱ、そういうばかなお金を寄付するだけやから政府の金で回したほうがいいというのが俺の結論、そうやろ？政府が俺にさせとることを俺が政府にしたってお前、行ってこいやからな

真田 孔明：

うん

北野会長：

会社なんていうのはね、皆さん、知らんけれども、俺がさ、小切手1枚孔明さんに切るやろ？1枚、飛ばしたらもう1枚、2枚目が出た瞬間に終わるよ・・・会社って。ここで信用がなくなったら終わり。ここ難しい・・・これをどうやったら抜けられるかなと思って最近、弾を見ながら考えとるんやて・・・どうしたら両方とれるかと・・・

真田 孔明：

それで週に2回は釣りを・・・

メンバー：

笑

北野会長：

穂先を見ながら何を考えとっかいうたら穂先あるやん。魚がぴくっと引くのもいいんやけど、
どうしたらこう何とかならんもんやろかと・・・ずっと考えとる。。一つのことをずっと考えて、
突き詰めて・・・

真田 孔明：

まさに瞑想の世界ですね。これ・・・賢者の・・・

北野会長：

何か無の世界に入って仏門の世界みたいなもんだ。一つの発想が何億の銭に変わるんやから、
善人の話やから・・・最後の落ちがいいやろがよ？善人いうて・・・

メンバー：

笑

北野会長：

さっきも言ったように中国は金を横に広げとる国やから、まだ集めやすいの。俺の発想から言
えば、それだけや。日本もね、皆さん情報を読んでみな？ほとんどの経済学者が日本の1%の人
間が90%の富をとってると・・・下の人には給料以外、渡たらんのやから・・・給料がどんどん目
減りしてとる。税金だけがどんどんふえて・・・日本の経済は・・・中国は隙間だらけ、まだ。
隙間だらけ。いろんな面で隙間だらけ。だから、ここにはチャンスがあると思う。一番楽な商
売はipadだけでできる・・・ところがブーム証券を探しても上海を探しても、日本のようなああ
いうばかな投資はないんや・・・そうやろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ここに問題があるがや。だから、この国はやっぱりまともに攻めないと本当の金っていうの
はつかめんの・・・上海市場っていうのはドル建てやから。ここにも問題がある。そういうもの
をこれから研究して金に換えていかんかと。歩きながら見ると、きれいなビル。ニューヨーク
は古いビルばかり、ここが違うの。アメリカは1人が、1%が99%をとる国や。おじさんらち
が金を持ったらね、絶対に離さんよ・・・おじさんは・・・。ここはあやふやな国・・・まだ取りや
すいんでないかなと。僕のきょうの結論としてはそう思っとる

真田 孔明：

みんなばかな使い方をしますもんね

北野会長：

日本で何かそんな人いる今？いないよ。昔バブっとったときに飲み屋の女が入ったら「俺、その女300」その横のが「俺500で買うわ」こういうこと銀座で当たり前・・毎日

真田 孔明：

女性を？

北野会長：

そう、1回に300万、500万・・当たり前やった。バブルの頂上や・・頂上。あんたらみんなまだ若いから。本当にそんな時代。花売りのおばさんに1万円札を折ってさ、チップをやるがか、銀座の人のおじさんの仕事やったの。みんな、束を巻いてあるやつを女の子にチップやと・・チップやで100万づつ・・それぐらい銭も回ったの。銀行がさ、ビル売りに出た買う。30億やけど店舗改装費で3億・・昔は・・だからビルを買ってまた3億、いらん銭をくれた、銀行が・・だからバブっとったん・・本当に。だからすごい時代

メンバー：

バブルの時代・・

北野会長：

俺ね、あのときには何か友達があまりすごいもんで動かんだね。こんなの続くか？株が1日2,000円ずつ上がっていく。2,000円。きょうダウいくら上がったいうたら「きょう1,500円・・あんま上がらんな、最近調子悪いな」いうて。毎日さ、ふぐ刺しを食って、あしたはステーキにする？こんなような日々。毎日、銀座に行ったらさ、座る席がない。こんな感じで座るとるわけ。満員で・・。今、見てみら？すっからかんや・・

真田 孔明：

すっからかんですね

北野会長：

そういうところに勤めてとった女の子はあのバブルが飛んでどこへ行ったかいうたらみんな吉原へ行った。当時は全部、女の子がケツ持ちをやっとった

真田 孔明：

あ、ツケの・・

北野会長：

席は隣にいらなくてもあんたが担当者。飲み代、きょう58万・・あんたのツケやから。みんなその借金を抱えたまま滑った

真田 孔明：

大変ですね、最後は・・・

北野会長：

だから飛んだあとしていうのはひどい。もうみんな全部、飛んだんよ。自殺でも言われておるぐらい。ものすごくて・・・どういふの？競輪、競馬、それから飲み屋、それから一番さっきも言ったけど不動産屋と建築業者、むっちゃくちゃさ

真田 孔明：

会長そのときによくその波に入ろうとしなかったですね？そっちに・・・

北野会長：

入るよりも先輩のほうが年上で迫力が違っとった。もう手を出すレベルじゃないが。チップがだからとりあえず事務所で10万円ほどチップのお金を折ってさ。折り紙にして渡すのが仕事やる？行けばドンペリ、ちょっと景気がよかったらシャンパンタワーでさ、わっせわっせ。それが毎日、当たり前のように・・・そのときの僕の先輩、知り合った不動産屋とかビル買った人、全部、飛んだ

真田 孔明：

全員・・・

北野会長：

1人残らず。全部。みんな言っとるがやて。俺な2,000億ぐらいしか借りてらんとかさ。俺は130億ぐらいでやられたとかさ。みんなそのときの社長ちゃあ、北海道から来た社長やらさ、四国から来た、そんな田舎者の集まり。ほとんどみんなおっちゃんや。奥さんも二人目やら三人目やらってみんなほらを吹いていたの・・・それぐらい景気がよかった。でも、本当に最後はみじめやったね。もともとはね、失礼やけど借りた人も返す気がねえから・・・頭から。労働対価じゃないやろ？1,000億円、2,000億円、借りてさ、それをスコップ持って返しますいうたってどうしようもない。返す気がない全く。最後にみんな五反田でさ、部屋借りてワンルーム。銀行が来るがやて・・・銀行とは会っとる。銀行が帰るやろ？お姉ちゃんのところに電話して「おい、迎えに来い、飯食うから」お姉さんはベンツの5000SLかなんかで、ヒョーンと迎えに来る・・・逃げ場はじゃあちゃんと確保しとる

真田 孔明：

おお〜ちゃんと・・・

北野会長：

本当にひどい時代やった・・・ずっとそういう時代を見たけど、飛んだあといい思いした人はみんな5億や10億は弾を持っとったんやけど、結局はパツとした人はいなかった・・・結末は。・・・金を使う、飛んでも、金の使い方はあまり変わらない。5億や10億の金をすぐに解か

してしまう。別に覚せい剤をしたわけでもなんでもないんやよ？せいぜい田舎に引っ込んだ人は何人かいたけど、その人たちは田舎で商売をしとるのか、一切誰に聞いても出てきていないっていうから。東京が一番、怖い街。ああいうときにはもう高利貸のママシって言われる金貸しまでが、金を借りとった人に殺されたんやから。刺されたとかそんな殺しじゃない・・金を返さんのやから。返す気がないが。だから、貸してもらったところ、わしがさっき言っとったようなことを全員がやった。借りとった人が返す気ないわみたいなことを・・そういうので潰れたの・・いっぱい飛んだよ

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

4万円ほどの株がすぐは8,000円に下がらんだけど、21,000円か2,000円・・次は1万円、それから12,000円ぐらいで1回とまったんやけど、あとは、ずぶずぶずぶと8,000円ぐらいまでに下がった。だから今から見ると、今の2万円が4万円の半分やから、俺はまだ・・だから日本はいけるんでないかなと。国のほうも一応、俺が聞いた話だけど4万円にしたい株価・・。だから、今号令をかけとる。年金機構も買っとるやろ？だから、株はまた上がる。何せとりあえず4万円までいかんと・・と安倍さんはスタート時点まで戻したい。スタート時点まで

真田 孔明：

じゃあ、わからなかったら日経平均を買っておいてもいいわけですね？

北野会長：

日経225とか。わしらはそういうところにも弾を入れておくけど。やっぱり下がるやろ？3日間下がったら、日経225でもとりあえず入れておくかいう感じやね。生活全体が俺の場合はそれしかないから・・あとはどうするか。それぐらい。皆さんはだから今、調子のいいときは波に乗ってしゃしゃかと稼いで。みんな一緒やよ、でもね、弾があったほうがやっぱ長生き長持ちする。あとは孔明さんのまねをしないこと。笑 これさえしておけば大丈夫だから。でも、格好いいよね。あとの姿が・・ばんばんとやられて。それで生きとるんやから・・こういうね、しぶといやつはなかなかおらんもんよ、世の中・・

真田 孔明：

要はかすり傷っていうことでしょ？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

つい数日前も2011年に3人で1,000万ずつ入れてつくった会社がずっとだめだったんですけど、2,000万円ぐらい解かして1,000万円引き上げたんですよ。でも、その二人の取締役が何

か取締役の意味がわかっていないみたいで、辞表を出してきましたね 笑。僕たち3人は株主でしかなくて、取締役じゃないんですけど。自費を出すっていても取締役ですからね。取締役が後任を探さないといけないですよ・・だから、その時代にやったやつは全部めちゃくちゃです。酒を飲んで。100キロ、何キロあったときにやったやつって全部、飛んでいますね・・2,000万。でも、1,000万を冷静に引けたんでね、もう・・

北野会長：

まだよかったと・・

真田 孔明：

まだ1,000万、返ってきたんで・・そんなのばっかですよ

北野会長：

そういう案件を持っとるってことはそのときに脇が甘い

真田 孔明：

甘くなっちゃいます。今、考えたらそんなのだって、3,000万に突っ込む価値がないですよ？全然。200万ぐらいでスタートしてやればいい案件だったのに。それがあると恐くて、この取締役の二人も使って解かしちゃうんですよ。これ、ずっと・・

北野会長：

ゆっくりやろ

真田 孔明：

あればあるだけ解かしちゃうんですよ。これね。何か銀行の気持ちが変わりましたもん・・それ。やっぱり引いたときもすごい文句を言われるんですよ。一生懸命やっているのに、頑張っているのにみたいな。こっちは数字をもとに語っているのに感情論で返ってくるみたいな 笑

北野会長：

そのうち泣かれたりする。最後に僕やめますとかって言われたら・・

真田 孔明：

そうそう！つい3日前ぐらい・・辞表？え、取締役が辞表って初めて見た・・ちょっとほとぼりが冷めたらメルマガネタにしようかなと思って。「取締役が辞表を出すの巻」みたいな。あるんだなと思って。でも、そういうときに限って脇の甘い人を雇っちゃってね。脇が甘くても。そういうのに寄ってくる。おもしろいですよ・・これ・・おもしろくないけど！！

メンバー：

笑

北野会長：

本当は一番、脇が甘かったのは自分のがやて

真田 孔明：

そうです。自分ですよ。自分ですよ。全部、失敗して・・・

北野会長：

若いときに金をつかんだ人っていうのは大体そうなる

真田 孔明：

みんなそうですね。よくその年って何か不思議なことに誕生パーティーみたいなのに呼ばれるのも多かったんですよ。西麻生とかなんとかで、やんちゃな30代とか。みんな証券会社を20代で大成功させて会長って呼ばれている人とかね。何社も持っていたり。誕生パーティーが盛大ですよ。もう。女の子をガンガン呼んで。バーを貸し切って、それで、テレビ局出身の何かの人とかも、すごい壮大なテレビ、ドラマのようなね、誕生日テレビとかつくってくるんですから 笑。君こそが金融界の時代の長者～みたいな歌までつくってきたり。こういう人もああいいう人も何人もそういう人がいたんですけど、全員、飛んでいますね。2011年、12年。僕と同じ時期に、何か・・・

北野会長：

それは、はやりやったから・・・ヒルズ族もそうやる？

真田 孔明：

きょうはヤフーのトップに与沢翼君が出ていて復活しましたね。すごいですね

北野会長：

与沢？

真田 孔明：

翼君が。ヤフーのトップに出ていましたよ。もうかっているって言って・・・シンガポールで。彼、あれすごい宣伝広告ですよ・・・ヤフーのトップですよ・・・あれ。またもうかっちゃね、あれ。運がついていますよね、あれ。ヤフートップって相当じゃないですか？だって。宣伝広告効果・・・

北野会長：

この間からちょっと時代が来とったやろ？シンガポールで。一つの夢やろね、若者に対する夢をアピールしとるんやて。今ね、あんたたちどう思っとるか知らんけど彼は大事な存在なんやて。あれを生かしておくのと、あれを生かしておいてもう1回、金をつかましてわーっと上げると、下へまたくっついていく人がおる。今、日本の国で一番、何が弱っとなると言ったら起業するあんたら・・・

真田 孔明：

魂がですね

北野会長：

若者がいない・・・本当や。あれもね笛を吹いとる・・・80兆どうや、どうや、誰も来んが？

真田 孔明：

誰もそれが大切だとも思わないですよ？

北野会長：

みんなね、そっぽを向いとる。そうやろ。与沢、見てみ。お前、村上、見てみい・・・あと何だっけ？

真田 孔明：

ホリエモン

北野会長：

ホリエモンね、木村見てみ、全部、殺されとる・・・政府に。だから、若者はね、半端者になる人がいない

真田 孔明：

怖いですよ

北野会長：

若者は金借りんだら経済って回らん。だから、この投信の話でも若い者にね、こうすりゃいいじゃないのっていうたら、俺が孔明さんに電話したときに東京からハワイに行くときにそんな話がもうOKになった

真田 孔明：

2013年の12月18日

北野会長：

だからそんなもん。解禁すればなんでも変わる、時代が。ところが、本当は実際ふえればいいんやけど全然ふえとらん、起業家が。だから、孔明さんのところのサッチェルが社長をしとる。

サッチェル：

孔明さんの弟です

北野会長：

弟さんがね。そういうのを本当に新規案件の1番か2番やそんなもん・・・いないんやて今。どんだけ印刷してもね、若者はつながってこんと、どうしようもない。金が動かんが

真田 孔明：

みんな信用、信頼のあるお年寄りがみんな持って行っちゃう。余計金持ちになるですね

メンバー：

笑

北野会長：

上は楽しても金はどんどん回るとる。政府がさ・・・さっきも言ったように今度、銀行に圧をかけとるやろ？「何で、お前、できないの、できないの」だよ。できなきゃ合併、合併とおどしをかけるわけよ。みんな、あんたらちは知らんけど、ほとんど今、一部の社長で自分の会社やっていうたらトヨタとソフトバンクとあと何がある？ユニクロとかそんなもんやで。あとはみんな雇われ社長やから、関係ねえんやて。借入も何も関係ない

真田 孔明：

みんなサラリーマンですよ。完全に・・・

北野会長：

サラリーマン。だから、笛を吹いても誰も金を借りてくれんから弱っとるのが国のがや。国民全体を投資家にしていかなと。半端者が一番大事なんや。今度、あんたらちが金をどんどん引こうかと思っても今度、銀行という機能があれはまた貸付で、こげついたらもっと銀行がなくなるもとなるよ。審査できない、しとるわけよ。だから貸し出しが伸びない。伸びないからいってまた日銀が今度、追い込みをかけとる。これの順繰りに今、回るとる

真田 孔明：

逆に言うと方程式さえクリアすれば決算書という。回ってくるわけですね

北野会長：

それが一番大事

メンバー：

銀行が保証協会をつけると言ったら、どうしたらいいのですか？

北野会長：

どんだけの？

メンバー：

付けてくださいと・・・

北野会長：

銀行が保証協会つきで融資したいと。保証協会が飛んだときにそれを、あれもどっちみち国やから。だから、一番問題は倒産せんこというて俺いつも言う。倒産せんっていうことはどういふことか言うたら飛んでも1万円ずつ払ういうたら倒産にならんやて

真田 孔明：

まさに弁護士の先生に書いてもらえばいいだけ、紙を・・・

メンバー：

でもあれって結局、本当に払う金がないっていうふうにしないとできないんじゃないかなって思っているんですけど

北野会長：

1万円の和解するとき？

メンバー：

本当に例えば給料をとって1万円にしてくれってっていうのは・・・

北野会長：

それはだめ、だめ

メンバー：

そうですね。そういうラインにしておいて本当にこれだけしかないから、してくれみたいな事をきやいけないってことですよね？

北野会長：

だから資産勘定で資産を持っても、車を持っても同じこと。それは全部売って、あとどうしても1円も払うお金がなければ1万円ずつでいって言うんやけど。それでも払うほうは払う意思があるところ言うからさ。あれは通るんやけど。でも、それで人生が終わるわけよ。その人のね。だから、俺から言うと先に図面を書いて、こうやって資金繰りはこうやって、固定費はこうやってって図面を書いてからその通りに安全パイで切り抜けたほうがいいんやて。先生に頼んだら800万の決算とりたい、100万でいいんがか、80万でいいんがか、とりあえず3年ほどは赤字でそっと回しておくがか？こういうことを考えて動かさんとあかん。そすると私みたいに点滴延命みたいなもんでさ、ずっと人の金で生きとる・・・わかる？国の資金で延命しとるがやて。会社はたした仕事をせんでも増資していくがやから・・・会社は。何で言うたら株でもうかるのを増資資金に充てとるがやて。この増資だけして・・・今は弾引きやね

真田 孔明：

弾引き、集中、決算書をつくって

北野会長：

今から恐らくこのまま日本の国はずっとそういうことをするから。わしはだからせめてここのメンバーだけでも弾がね、たくさん引けるような状態が一番いいんや

メンバー：

はい

北野会長：

でも、弁護士の先生とか経理士の先生とか、何か金、引きやすく感じるやる？ところがね、ここらはまた難しいんやてね。本当に・・・また、あんたさっき日本へ来てから会社を興す、ああいうね、あやふやなほうが弾は出やすい。固い職業でない、あんた自身が解明できんから。これのほうが未来志向としてはね、未来が明るく見えとるわけ。弁護士さんもね、司法書士さんも顧客によってそのの枠がもう1件いくらで想定できる。だから融資が結構やっぱりきちんとできるわね・・・あっちが。査定ができる。あんたみたいに査定のできんタイプはいない。自分、ヨーロッパやし。取引もユーロやしみたいなことを言うとりゃさ、はっきりわからんやろ？あやふやなほうが結構いいときもある

メンバー：

融資を引きやすい事業というか、あったりするんですか。新しく会社をつくろうと思って

北野会長：

今、国が一番出そうとしとるのは介護。高齢化社会やから介護は特に出やすい・・・金が。でも、介護っていうのは手をつけるっていうのは従業員の数が多いし・・・あんまし

真田 孔明：

リスクも大きいですよ

北野会長：

リスクはそんなに・・・もうからないけど、少しもうかる商売になっとる

真田 孔明：

たくさんの人を使ったりするとマネジメントスキルが必要になっちゃうじゃないですか？人を使う。それはそれでレベルが上がっちゃいますよね。物販でいいのは自分がたった一人でも簡単な話、貿易だと億できるじゃないですか？右から左に。そこがいいですよ。人を使えば使うほど別の能力が必要になっちゃいますよね

北野会長：

経営っていうのは物販でも経営はさ、いろんなトラブルや問題が起きるやろ？例えばユニボ1台扱ってもさ、あそこが故障した、ここが使いづらい、水平にならずとかさ・・・上手に組むとかさ。技術者がいるやろ？ただ、結構ね、一般商売は難しい

真田 孔明：

あ、物販も

北野会長：

俺は絶対にそう思うよ。上下のぶれも多いんやて、数字がね。それから見ると俺が一番、株にこだわっとるのは何がいいって、金さえあれば上下がないやろ？売りと仕入れしかないやて、俺から言うとなんと売りと仕入れと、あと借入と送金しかねえやから・・・これはやっぱり俺にとっては楽な商売やなと・・・

真田 孔明：

あとは決算書マジックをやっていたほうが早いと・・・

北野会長：

だからそこにノウハウでもはや、新しい事業。会社を売りにくれば買おうかなと検討しとるけど。最近もう売りにくる会社もろくな会社がないよ。本当に債務しかないとかさ・・・何もならない

メンバー：

いいのあったのは、貸しはがしがあったときとかそういうときに結構いいのがあったということ？

北野会長：

そうそう、本体が飛んで横に持っていたショッピングモールとかマンションがいらないからそこが別法人で弾さえつけておけば回る。そういうものを買った

真田 孔明：

それでショッピングモールとかを持っているんですか？

北野会長：

そうそう。一つ買ったらさ、何かあの人、金持っとるみたいだからって言ってまた売りにくるがやて。もう一つ来たからそれも食っておくかみたいな

真田 孔明：

ショッピングモールとか不動産とかマンションとか

北野会長：

ほっといても家賃は上がってくる商売やからみたいなことを言うときゃ相手も甘いお客さんやなと。だから、相手の隙間を考えとるんやて。今までは給料をどんどんとってぎりぎりまで収益を抑えたいと。その域は達してしまった。今度は逆に収益を上げて弾引きを考えると。どっちが得かいうたら弾引きのほうがり回りがいいんがやて。今の投信あたりに入れておけば。最低、俺の見立てからいうと20%ぐらいは回ると

真田 孔明：

しかも、全部、税引き後ですもんね。クリーンなお金ですよな？

北野会長：

クリーンなお金を個人やから今度。もっと嫌な話をするけど、普通の会社のときに今度、例えば個人で会社貸付金をふやしておくがやて。そしたら、その会社、借入したときに簡単に金が入るやろ？オーナーは貸しやからさ。当然、返済してもらわな。ここにこの企業のおもしろみがある。いろんなことを考えとるわけよ

真田 孔明：

普段からやっておくんですよな？普段から・・・地道に

北野会長：

そう。だから、日掛け、月掛け、心がけっていうのはここさ

真田 孔明：

1度に一気にやらないで

北野会長：

自分銀行をつくっておくがやてね・・・簡単やろ？

メンバー：

紙の上で

北野会長：

紙の上でつくるんやから

メンバー：

例えば僕が引っ張ってきたのをに入れて、会社にあった金を入れていたのを融資を引っ張ってきて戻して毎月貸付。それもいったら複利と一緒にかなと自分的には思ったり・・・複利まではいかないですけど

北野会長：

利息をとっとる分だけが複利でない？それやと

メンバー：

そうですね。ただ、投資信託も残るし。僕の貸付金が会社に

北野会長：

残っていくと。また引いたのも自分でもらって・・・少しずつはだから利回りがよくなっていく・・・その繰り返し。今の投信だとそういうことができるぐらいの利回りやった。だからわしもそういうところを見て貸付金を銀行からとってそれを全部、投資信託へ回した。会社とは一切、手を切ってね。清く、正しく、美しく。どんどん国が源泉をとってしまいうんやから問題ない。この間みたいに下がったときに俺も、え、これ何か電話かけてきて、レアルのせいですから問題ないですよみたいなことを・・・すごい相手は簡単。今、またふわっと少し上がってきたから。間違いないかなと。いうとこやね。今のところは。でも、あしたは誰もわからんからね。一つの博打には間違いないけど、なるべく個人的に変なところへ投資したりさ、そういうことは絶対にしないようにしとる。消えたときに誰に責任とってくれとも言えんやろ？

真田 孔明：

ちなみに僕が個人に日本の会社に貸付をずっとしていてもいいんですかね？

北野会長：

全然、問題ない

真田 孔明：

海外居住者の僕が

北野会長：

全然、問題ない

真田 孔明：

大丈夫ですか。ずっと。毎月、毎月

メンバー：

法には触れない

真田 孔明：

融資がきたらそのお金をぽっと返してもらって、それで僕が回すと・・・

北野会長：

一番正當な考え方や

真田 孔明：

毎月いくらずつぐらい貸し付けていればいいかな？

メンバー：

規模によりますから

真田 孔明：

1,000万まず引っ張ってくるっていったら1,000万、割る10人みたいな・・・毎月

メンバー：

笑

真田 孔明：

80万ずつぐらい貸し付けていればいいんですかね？

メンバー：

だから投資信託に入れて、その分配金出るじゃないですか。それを貸し付けてみたい。その分配金分を。そしたら自分の元で・・・

真田 孔明：

これやっておかないとね。貸付・・・毎月

北野会長：

だから、みんな数おるんやから、こうやってディスカッションをしたときにみんなの一番いいところの点数の意見を取り入れてみんなで実行していく。失敗はないし、今の話でも俺、すごくいい話やと思うよ。平均して例えば1,000万で2分やから20万ずつあると20万ずつを貸し付けと・・・こういうことにしときゃさ、貸付金なんていくらでもつくれる。これはでも正当な貸し付け

メンバー：

僕の認識ですと社長の貸付の方がいいのかなっていう。そうするとだって・・・

真田 孔明：

そうですか？海外の人より・・・

メンバー：

たぶん一緒に見えていると思う

メンバー：

社長の借入は資本と一緒にですから。自己資本が厚い

真田 孔明：

僕のだと借金がふえていくだけになっちゃうんですね

メンバー：

ただ、ご親族というのがわかれば

真田 孔明：

僕の名前あまり検索されたくないんだよね。嫁名義で・・

メンバー：

お姉さんから借りる、身内から借りる、資本に近い性格じゃないですかね

北野会長：

やっぱり奥さんやて

真田 孔明：

嫁さんですね

北野会長：

奥さんのほうが信用性が高い。

メンバー：

笑

北野会長：

でも、金利を嫁に払っとる金利が高いとか安いっても、俺がとっとるともって文句を言いやすいわね。うちのかみさん、お前こんだけよこせというもんね。あんた、説得してくださいよと言えば、どうしようもないよ。その一言でゲームは終わるんやて

メンバー：

確かに、言いようがないですね

真田 孔明：

それは誰から誰の場合ですか？

北野会長：

うちの会社が。1%以上の利息を毎月払っとると・・

真田 孔明：

奥様に。奥様が貸し付けていて・・・会社に

北野会長：

今までは12%やったのに何で今期から15%？収益がふえていれば18%にしたって高すぎるんじゃないかい。高い安いはお前と関係ねえやろって、経理上の問題やから。サラ金はもっと高いやろ？

真田 孔明：

二十何%

北野会長：

簡単やて・・・話は。だから、戦争ごっこをしなくて冷静にぱんと言うと、普通のサラ金よりもたいしたことないですねと

真田 孔明：

これもパッとこないとだめだね

メンバー：

パツと言う

北野会長：

だから毎日、考えていないと・・・

真田 孔明：

いざというときに言えない・・・この想定を瞑想のようにずっとできているっていうのがすごいですね・・・神の領域

北野会長：

それしかないやて、それが一番の金もうけの一番の最大限やよ？これからは・・・

真田 孔明：

釣り重要ですね。誰とも。無言でずっといられますもんね。釣りは・・・

北野会長：

だから逃げ手を、一つの問題に逃げ手を三つぐらい持っている結構、逃げやすいんやて。一番いるのは時間の・・・時間は金よりも偉大や

メンバー：

なるほど

北野会長：

だから一緒のものでもさ、見方によって違うっていうところはそういうところやね。俺なんか今までやっぱり山を踏んできとっからいろんなことを考えてさ、成功例も失敗例も。ただね、つくりすぎるとだめ。何億、何十億の単位になってくるとだめ。相手がさ、真剣になってきてしまう。相手が真剣になってね・・・だめよ。だから、これはやっぱり会社を分散して・・・

真田 孔明：

頭の低い会社を・・・

北野会長：

低い会社でどんどん。ちまちまとやっていくと。金っていうのはそうせんとね、たまっていのかんのよ。最初から清く、正しく、美しくやって43%の税金の・・・。あんなの本当ネズミが回るやる？あれと同じや。43.5を払ってその22%ほど払って、先生、残る？残らんって。本当に残らんよ

真田 孔明：

国ってすごいシステムですね

北野会長：

あれこそ、まさしく人間を働かせる仕組みをつくった。取った給料には源泉やろ？市民税までまたおっかぶせてやる？取っていくんやから。一生働き詰めで。だから金を持つとる人たちはやはり本当にでかい山を踏んできたのは本当やて。そうするとそんな金が残るわけない。彼らはもっと危ないところを渡ってきとるんやなと思って、わしらはただ見とるんやけどね。みんな本当の真実と言わんからね。遠回しには薄いところは言うけど。本当の要は言わんもんやよ。絶対に言わん。顔を見とったら俺は見えるもん。本当のでっかい要は言わん。小手先のことは少年にも教えてくれる、本体は言わん。みんなやっぱり恐らく何百億単位で抜いとるわけやから・・・そうやる？ちまちま億単位の話じゃないって・・・100億、最低10億単位ぐらいで金を抜いていると。出せんキャッシュもあるけど。出せんキャッシュもあるってすごい言葉よね

メンバー：

笑

真田 孔明：

表向きに出せない

北野会長：

出せんキャッシュもあるからって言われたらね・・・あれは日本もね、銀行にあるお金と世間一般にあるお金と、何か本当はバランスが合っていないといかんやろ？お金っていうのは。ものすごい金額が違っとるはずやよ、何十兆か違う。たんす預金になっとる

真田 孔明：

金庫の中みんな 笑 みんな金庫の中だけ金額が膨らんでいるんじゃないですか？みんな金庫の中の・・・

北野会長：

だから本当の金持ちは預金なんかせんというのが本当やてね

真田 孔明：

みんな、たんす預金・・・そういう意味か

北野会長：

だからたんす預金になるがやて、ましてわけのわからないお金っていうのはそうなるんでない。よっぽど大きい金庫を持っとるやな

真田 孔明：

やっぱり金庫か・・・

北野会長：

だからどれだけ調査しても出てこんお金っていうのはあるわけやから。弱いと見たらね、税務署なんてしょっちゅう来るやろ？気の弱い経営者は絶対にだめ。食い殺される。税務署はね、本当にやくざ者よりも因縁をよけつけないから、本当に。金持ちになって一番、皆さんが金持ちになって弱くことは税務署。あれ最終段階やからね。あれをクリアしたお金だけが自分のお金や。今、がちゃがちゃしとるお金っていうのはね、誰のお金かはっきりしてない。あれは決算をとってガサが入っても抜けられる金でないと自分の金じゃない

真田 孔明：

使っちゃったお金も追われて全部、取られちゃいますもんね。借金になっちゃいますね

北野会長：

その矛盾が日本の国を漂っとるんでない？だから無職の人だけが金を持ってさ

真田 孔明：

ここ数年で僕の周りでも億単位の脱税をやられた人って何人もいて。その人たち、一撃で言われますもんね。1人はついこの間まで何かちょっと富豪っぽくしていたのが、やっぱりずっと見ないなと思ったらやっぱり刑務所に入っていて、2年ぐらいか何か。その人はいくらっていつ

たっけな・・税務署に。やっぱり何億・・そうすると一撃でお金使っちゃっているでしょ？お金とかいろいろ・・やられちゃいますよね。最近S師匠っていう人もマッサージ系の経営しているんですけど2億日本で・・一撃で弱ちゃいましたね

北野会長：

あれやられるとね、本当にね、神経のホディブローで一発くるがやて。だから特に日本の国っていうのはさっき言った若い起業家を誰が殺したかっていうたら、あれは全部じじどもが殺したの。じじどもがね、こぞってチクるわけよ。最近、あの変な車に乗ってテレビに出て、派手な1,000万もうかったら1億もうかったら言うとなると

真田 孔明：

秒で、億みたいな

北野会長：

そうそう、ああいうのはすぐ殺される・・すぐ殺す。じじども、やっかみ強いやろ？自分は人生は短いやろ。スポーツカーなんて乗れないやろ？金もうけるのは簡単にもうけるとやっぱりやっかみやで、それで叩くがや。それがやっぱり日本経済には俺が一番ダメージが強いと思う。だから、やっぱり今、ホリエモンでもね、ヤフーに取り上げてさ、若者はまだ生きとったみたのでさ、どんどん書き立てて、わっせわっせ盛り立てんとさ。金は借りないわ。時の寵児と言われた人はみんな底へ入ったやろ？ホリエモンにしたって、何か浮かんでるのか浮かんだらんのか知らんけれどもね。でも、ちょっと目立つとたたかれるよね。そこをどうやってクリアするかが一番大きいんでない？

真田 孔明：

目立たなくても、目立とうとしなくてもちょっと何かブログとかやっているだけでもたたかれますよね

メンバー：

孔明さんもちょっと危なかった。何か白羽の矢が立った？

真田 孔明：

会長が殺しに来たっていうね 笑 タカの指令でとか言って・・

北野会長：

そういう話っていうのは出てくるわね。だから、やっぱし俺が言ったんじゃなくて孔明さんが1000兆やら借金があってさ、日本の国いつ潰れてもおかしくない、おかしくないって毎日言うてるやろ？それを情報っちゃあ入るがやて

真田 孔明：

タカのほうへ・・

北野会長：

タカのほうへはどんどん入ってくるんがやから・・・変な者がおると・・・ここをこうなるがやて。1回、お前のところで調べてきてくれみたいなことを言えばさ、そんなこと警察にも言えんやろ？だから結局は最後になるとどこかに欠点があるそこを突かれる。金、それから警察、もしくは税務署、3本の指ね。業界3っていうんやけど、この3つの指があればどんなものでも殺せるとい

真田 孔明：

国税、警察、許認可とか

北野会長：

どこかの商売をして金を稼いでおるわけやから。それを警察と税務署と3本で絞め殺す。だから金をつかんで上がっていくいうたら難しいんやて・・・だから残ったおじさんらち見てると、一目瞭然につながるとるもんな？あれはちゃんと・・・所轄にもつながるとる、バッチにもつながるとる。だから、ちゃんと三角形をコントロール。センターでうまいことつながって・・・

真田 孔明：

じゃないと何十億、何百億単位ってつかめないってということですね？

北野会長：

それでも死んだら、次の代がどうなっとるのかね？日本の大蔵省から見たらね、金持ちも貧乏人も日本のアリやと思うとっからね、本当やよ。大蔵省に勤めている人はみんな東大出やからね。庶民はみんな俺よりも頭の悪いのが庶民やと・・・働くアリやと。昔そうやって発言したテープがいっぱい残っとる。自分のネジ1個で企業なんてなんぼでも法案一つで・・・税法みたいなもんで。今なんかでも典型的なもんでない？給料は安くなる、消費税は上がる、介護保険は上げる、上げっぱなしやん。そのお金、どうやって使っとる？あやふやよ。どっちが腐っとるのかいうたら何もわからんよね？わしはたまにそういうことを思いながら、どっちが腐っとるのかなと思ってさ。長い者には巻かれて生活しとるしか手はないわ。反発したら一発やもんね・・・あんたのこの許認可も大丈夫？

メンバー：

うちはだから僕はもう完全に代表とかからは抜けて

北野会長：

抜けたわけや。代表はまた雇われ社長を立ててきちんとやっとなるわけやろ？

メンバー：

一応・・・何とか・・・

北野会長：

あ〜、そこはやっぱりぎりぎりのところでやっぱりにらまれとるわけやろが？いじめられとるのは、そんだけやんちゃしたい証明なんやよ、これ。やんちゃせん者をいじめにくる者は誰もおらんやから。それもちっとしんどいの。飾りも立てておきゃ大丈夫やろ・・・株券とだから代表権とそこら辺を切ってしまうとおけば責任はこないから大丈夫や。株券を持っとると、今度ね、実質経営者いうやつにたたかれる。俺、いろんなところでたたかれとっから・・・笑
本当や、いや、なんでまた俺のケツまわりついとるのかな言うて弁護士に相談したらさ、会長は株券を持っとると・・・株を過半数でなくても発言権が強いのは事情聴取をすればすぐに従業員からが出てくると・・・そういうのは実質経営者で今度やられるやと

真田 孔明：

株主って実質経営者になっちゃうんですか？元経営者だからですか・・・それは？

北野会長：

権利がある。株券を持っとって、例えばわしらみたいに元社長。今、会長みたなね。株券を持っとる間中、実質経営者

真田 孔明：

投資家とかはならないんですか？普通には

北野会長：

ならない・・・それは絶対にならないわ

メンバー：

その株券を・・・

北野会長：

これゼロになったら裁判では100%勝てるというのが私の情報やね。ゼロパーセントのものは攻めてこんの・・・勝てないから

メンバー：

家族でもいいんですか？

北野会長：

家族でも全然問題ない

真田 孔明：

名義が入っている、入いんないって重いんですね。ややこしいことをやっている人は1個も株に入らないで家賃として受け取っておく・・・ジョホールバルとかで・・・

北野会長：

うん、きちんとしとっから・・・家賃やから。これが一番はっきりしとるね。どっちみちさ、金、引いとるのは一緒やから。腹が立ったらまたジョホールバルを改装したとかさ、わけのわからんことを言うとかはどうしようもないから。どっちがきついかと。でもね、ずっとそういう神経を使っとるのもひどいんやて・・・俺が。だから最近はまだ清く、正しく、美しく。そっちのほうでなんでも処理したほうが楽やなと

真田 孔明：

弾を引っ張っておいて回しておいたほうが

北野会長：

そうそう。悪いことっていうのはね、習ったり、聞いたりするといっぱいあるんやて。でも、今度ね、自分の神経がしんどくなるよ。だから、投信がなんで好きやっていうたらあれで税金を納めてってこと。たたかれようがない

真田 孔明：

そうですね。一番僕たちがやるのにはわかりやすいのはまずは決算書をしっかりと引張るだけ引っ張って、回しておく。税引き後のものをもらおう。これがわかりやすいですね。とりあえずはね、これをずっとやっていて延命、余命時間を伸ばしていくっていう

北野会長：

わしもだから最近はその域に達しておるやて・・・だから、それでね。本当は家賃も何ももらう必要はない。でも無家賃もおかしいやろ？家賃は300万ほどあげておきゃいいだろうと

メンバー：

家賃の税金っていくらなんですか？

北野会長：

個人申告やもん

メンバー：

個人申告で何・・・

北野会長：

家賃が入るやろ？300万のうちに焼却資産から落ちるやろ？それだけ。固定資産税と償却費だけやね・・・先生ね。あとは僕の好きな修繕費やけど。それもだめ。そんなね、あれやとって

真田 孔明：

ジョホールバルのコンドミニアムあるじゃないですか、あれを例えば弟の会社に福利厚生で貸し付ける、これできるんですよね？これ名目って何のために貸し付ける？

北野会長：

海外営業所や

真田 孔明：

海外営業所

北野会長：

そうやないかい

メンバー：

保養所じゃなくて？

北野会長：

営業所、営業所

真田 孔明：

営業所か、これ。現地の法人をつくる必要はあるんですか？

北野会長：

だから、また悪いことをしたくなったら現地に法人をつくれればいい

真田 孔明：

ちなみに今は個人名義で買われているじゃないですか？マレーシアとか例えば・・

北野会長：

あれは俺のもので会社が俺から借りとりんや

真田 孔明：

借りている・・営業所。月に何社が借りているんですか？あそこって

北野会長：

あれは30万をどれだけ・・20万と30万にばらばらにして、また100ほど銭を集めておる

北野会長：

毎月、20万、30万ですか？

北野会長：

そうやよ

真田 孔明：

すごい。家賃収入とかどうでもいいですね。これ。現地の人に貸しては絶対にだめですね。これやっちゃね・・・それ

メンバー：

家賃収入って海外じゃない不動産でもいいんですか？

北野会長：

別にどこでもいいよ

メンバー：

日本でも、問題ないのですね？

北野会長：

そのもの自身があなたの所有か例えば会社の所有であれば・・・他人のはだめやよ。他人のやつを借りたにしてさ、金をあやふやにする、これはだめ、必ずばれるし

真田 孔明：

自分名義の不動産ですね

北野会長：

そうそう

メンバー：

さっきの話でお金を国外に渡そうと思ったらこれが一番

真田 孔明：

これが一番、営業所が早いんですよね？不動産・・・そうだな。持っているかな。フィリピン営業所とマレーシア営業所、中国営業所。コソボ営業所。コソボっていったら土地だけか・・・土地だけ

メンバー：

無理やり営業所 笑

真田 孔明：

駐車場の営業所・・・コソボ

メンバー：

保養所だとだめなんですか？

真田 孔明：

保養所じゃないんだ・・・

北野会長：

保養所にしたことは・・・福利厚生で落とせるか・・・それでも落とせるけど

メンバー：

実はモレックで、そのスキーム動いてます

真田 孔明：

保養所で？

メンバー：

それってグレーってということですよ？

メンバー：

グレーかな？

北野会長：

営業所のほうが固い

メンバー：

実際に営業のために・・・

メンバー：

大規模にやっているらしいですよ・・・ちらっと入って・・・

メンバー：

知り合いの方で・・・

メンバー：

某グループが・・・

真田 孔明：

グループが？

メンバー：

そこの20個ぐらいまとめて・・

真田 孔明：

20個買って？

メンバー：

いろんな人が買ったやつをどこかの会社がまとめて・・保養してみたいな・・

真田 孔明：

どこかで何か入っているのかな？じゃあ。ピンはねしていると。それで。

北野会長：

また貸し興業やね

真田 孔明：

それは頭がいいですね

メンバー：

やっているみたいですね

北野会長：

方法はね、なんでもたくさんあるやて。考えれば。考える時間が普通の人はないから思いつかんだけで、悪い本を1冊買ってきて研究したらなんぼでもできる

メンバー：

まさしくこの話を、ある人が言っていたんですけど。普通の税理士ってもう考えなくなるんですよね。仕事が多いので、さばくのがいっぱいになって本当のノウハウは特定の金持ちしかないんですね。例えば税理士とかも、このことだけ考えるようにっていう税理士とかが結構いるんです。お金持ちだと、1人が囲って

真田 孔明：

プライベート税理士

メンバー：

うちのことだけ。うちが絶対に得することだけ考えるみたいなの

メンバー：

アメリカっぽいですね

メンバー：

ずっと考えられているから、考え続けるっていうのは一番すごいノウハウなんですよ

真田 孔明：

皆さんも孔明不動産を借りてください。あとは裏ではどうなるか・・・笑

北野会長：

でもね、ずっとね、こうやってみるとそういうのがね、一番金が残しやすい。ひっくり返すと例えばマンションを買って、それは誰が買ったかって最後になると税金が、税務署が買っとるんやて・・・全部。これはこうやって後ろを見るとね。結局、全部、金を集めるやろ？俺が。俺のところに金が入ってくるけど、これはどこから出た金やいうて、各法人から出た金やろ？ということは税務署があれを買ってくれたと、こういうことになるやて、結論づけると

真田 孔明：

ハワイも・・・

北野会長：

そう。だから、売ったときにどうなるかとかさ、いろんなことを考えとかんと、売ってまた値上がりなんかしとってろくなことないよ。だから、不動産もよしあし。見方によってはケツを追われる一つやなと思うから、あんまし不動産はもういらないなと。不動産は固定資産税がぼっかけてくるやろ？嫁はんからはもう建っとるものは買うなって言われてる。本当に。固定資産税の山やから・・・そういうのはもういらない。金だけ寄越せ・・・ここが矛盾しとるやろ？固定資産税は払いたくない。金は寄越せ・・・矛盾しとる。女っていうのは大体、矛盾した生物。全体をそうやって考えたらね、矛盾だらけやよ。だから、どうこの生きとる間に波乗りのように上手に乗れたら金が残るし、二つに一つやね。孔明さんも早いうちに会社を持っとりゃ会社から家賃をとってどんどんそこへつぎ込んでおくがやて

メンバー：

家賃って海外送金？

北野会長：

所有者は俺やろ？全部、日本で取るの

メンバー：

日本で・・・

北野会長：

清く正しく申告しときゃさ。何も問題ない

真田 孔明：

家賃の申告はどのぐらいあるんですか？

北野会長：

俺？

真田 孔明：

家賃の申告ってどういうふうになっているんですって？

メンバー：

個人所得税

真田 孔明：

個人所得税。海外居住者

メンバー：

会長の場合は日本

真田 孔明：

ですよ。日本居住者

メンバー：

結構、高い税金になるんですか？修繕費で大分、落とされる？

北野会長：

それもだから修繕費もね、最近しんどくてさ

メンバー：

笑

真田 孔明：

結構、大きくなると

北野会長：

だからスペインみたいなもんでさ。いろいろ修繕費にかけた。今期でも上がるよ・・・ものも売っぱらう。今度、ハワイで生活すると。こういうのはなかなか足がつきにくいんや・・・
こういうのは。そうすると何か孫を犠牲にして金もうけをやっているようにも見えるけども

メンバー：

償却多かったら意外と課税所得残らないかもしれないですね・・・結果として・・・

メンバー：

償却が終わったあとして・・・

メンバー：

課税されちゃいますね

北野会長：

この間、ハワイ銀行からHSBCへ送ったらそれも何か引っかかっておったよ

真田 孔明：

アメリカ、香港をつなげちゃだめみたいです。すごいシビアみたいで、それを知らなくてちょっと変わっちゃったんですよ。その年に。運が悪かったんですよ。アメリカと香港のそれでちょっと問題があったみたいで。HSBCとかすごい問題が起こったじゃないですか？1回。何か。香港のなんだかで。あれにちょうど当たっちゃって。一発でアウト

北野会長：

あれは脱税の片棒を担いどったね。HSBCが。マフィア系のお金もそこで洗浄して・・・

真田 孔明：

マネロンのあれになっちゃったんですよ。対象が・・・

北野会長：

HSBCもすぐに日本から撤退したやろ？

真田 孔明：

その時期も含めて。それをやっちゃったんでね・・・

北野会長：

あのときに簡単にプレミアカードをお返ししますみたいなことを言われて、あら、そうみたいな・・・

真田 孔明：

しかもそれ自分のお金じゃないっていうのがまた悔しいです・・・そのときに他人に頼まれてやっちゃったみたい。なんでもやっちゃった。あんまりわかっていなかったんですよ、そういうの

北野会長：

今、HSBCがなくなってシティもなくなって

真田 孔明：

シティがなくなっちゃったんですか？

北野会長：

そう、日本から撤退や

真田 孔明：

口座を持っているな・・俺。やばい・・

北野会長：

もう一つどこやったっけ？何とか言うとしたよ

真田 孔明：

日本の口座ってもう閉じられています？シティバンク

北野会長：

今、閉じとる最中やろ？

真田 孔明：

やばい、やばい

北野会長：

法人部門だけ残して個人部門を清算していっとるんじゃない？

真田 孔明：

日本に来ているのかレター・・

北野会長：

三井住友が何か・・確か・・

真田 孔明：

来ているのかな？送金しておかないと・・じゃあ。今まで便利だったんです。シティの銀行のやつで・・クリック一つで送れるんで、海外に。何の問い合わせもなく

メンバー：

登録しておけば、大丈夫と

真田 孔明：

1日300万までですけど

サッチェル：

シティって営業所ありますか？

真田 孔明：

ありますよね？東京とかありますよね？

メンバー：

この前、電話しましたよ

メンバー：

何かの部門がなくなった・・

北野会長：

個人部門をなくして、法人部門だけを残して、個人部門を三井住友に売ったんでないかな？

真田 孔明：

オンラインバンキング残っているのかな？

北野会長：

上はだから上のまた計算式があるがやろて

真田 孔明：

HSBC、香港以外は全部ちゃんと普通に中国、フィリピン、シンガポールありますけどね。でも、シンガポールが何かあまりふやしすぎたのでシティバンクに集中しちゃおうと思って。自分で閉じたんですけどね。フィリピンは普通にHSBCなんで。マレーシアもHSBCからお金を借りていますからね。3件分。銀行は意外にお金を移動するの危ないですよ・・最近。アメリカに送るとか、香港・・

北野会長：

特に

真田 孔明：

右、左にが危ないみたい

北野会長：

特にアメリカは何かちょっとぴりぴりやね・・まあ悪いことをせんようにしましょう！

真田 孔明：

この間もたった香港から10万香港ドル、150万円分ぐらい送っただけで、何かすごいまた調査に来ましたから・・・シティバンクから。あなたはアメリカの居住者じゃないですよねとかなんとかですよねとか

北野会長：

それは何の仕組みですかとか・・・人を全部、説明書、書いてくれって・・・送ったお金、全部やね

メンバー：

役員にアメリカ人がいたら、日本の保険とかにも入れないですよ。入るのにすごく厚い契約書

真田 孔明：

アメリカ国籍とグリーンカードを持っている人は口座、今、アジアに開けないですもんね？どこもね。銀行が断るみたいです

メンバー：

強いあれが出ているんでしょうね

真田 孔明：

保険も入れないんですよ。積立とかああいうのもね。すごいですね。アメリカ。日本もそうなっちゃうんですかね・・・そのうち

北野会長：

なるやろね。マレーシアに送った送金の伝票、全部、税務署から来て全部、お金の明細、何のお金ですかいうて。銀行に送金したときにも書いてあるはずなんですけどって言うても、新たに書いてください。まして、向うから戻ってきたお金。もっとチェックきつかったよ・・・何のお金ですかいうて。それは何の明細のお金かいうて。「こちらではわからないから行って調べてきてください」笑 最近ね、結局、そこへ落ち着かせるしか逃げ手がないんよ

真田 孔明：

調べてきて・・・そのときは忘れたって・・・

北野会長：

私のところでは記憶がないからお宅のほうで調べてくれと。立証責任はお宅のほうでありますからとは言わんがやけど。お宅のほうで調べてみてくださいと。しか言えない。だから、そんな話をこの間、弁護士さんに聞いたとったら、あなたは日本居住者やから、マレーシアの家賃も全部日本でもらいなさい

真田 孔明：

逆にね

北野会長：

はっきりする。そうしたら調書もこないですよみたいなこと言うから、あ、そう。あら、そう、みたいなもんでさ。ホントこの悪いことをするっていうのは本当に知恵のかかるもんやよ・・・これ。手間暇かかる。もっと今、新しい抜け道、こうすると吹き抜けのようなああいうのを見つんと軽やかや人生は送れんな。ちまちまと悪いことをしとっても、今度ね

真田 孔明：

昭和の時代に使えたことが使えなくなっちゃったんですね。今

北野会長：

もう全然だめ。あれは、やっぱり昭和の遺品や

真田 孔明：

本当に昭和の時代って今から比べるとなんでもできていますよね？何か・・・もっと。自由度がいっぱいありますよ・・・ゲームに

北野会長：

だからさっきからみんなに言っとるのは、ここはだからいいとこや。14億の中に身を沈めてみる？なかなか出んぞ

メンバー：

笑

真田 孔明：

前、日本に一時帰国したときにテレビでやっていたんですけど、政府の役人の賄賂特集みたいなね。何かトップの方は、兆の単位で賄賂をもらっているとか・・・訳がわからないですよね？それはもう逮捕状でたりする人たちですけど・・・数千億とか、意味がわからないですよね？この賄賂は・・・

北野会長：

これからちょっと上海で、決めておこうか。俺はこの街はそういう面でいいなと思う。この前、来たときよりも空がきれいやし

北野会長：

どんなにいいスキームもね、一時しか・・・

真田 孔明：

一時ですよね？一瞬。中国ってね、何かスキームをつくっても全部一瞬で終わってくるんですよ。みんながまねをするから・・・一気に。もうプレイヤーが多いので、まねする人の量もね、半端ないんですよ。一瞬で終わっちゃうんですよ・・・全部

北野会長：

だからね、縄抜けも一瞬はできるやて。それを重ねてやると絶対にガッチャマンが待っとる

真田 孔明：

そうですね。本当に逃げる感じですよ。1回やったら・・・

北野会長：

つかんだら逃げなきゃあかんよ・・・

真田 孔明：

まさに・・・

北野会長：

逃げるいう話を10回ぐらいしたけど・・・わしは日々、そういうばかなことを考えながら生きとっけど。つかんだら逃げたほうがいい。あと、逃げるときはやっぱり10億ぐらいの単位で逃げたいと思う。最近、発想をね、そこら辺にして・・・一瞬やから

真田 孔明：

10億、一瞬

北野会長：

やっぱりね、そういうものを中国で仕掛けていくのは俺が一番おもしろいなと・・・。それか、株券だけを弾を集めてさ。会社の株券で会社を乗っ取りに出してしまうとかさ。実質はこんなもん自分で文言を書いたら面倒やろ。経営者は相手に任せてさ

真田 孔明：

経営者を相手に任せるって難しいですよ。本当に・・・

北野会長：

だから、そこやて・・・一番。でもね、人に任せることができる企業でないと伸びない

真田 孔明：

人に任せるって恐怖だな。みんな裏切るからな。やっぱり株主があいまいに複数いて責任がどこに行っているかわからないような感じのビジネスってやっぱり失敗しますね。この株システムは・・・

北野会長：

別に毎月の試算表は先生のところでもチェックしてもらおうと・・・厳重チェックで。株と投信だけでは何かおもしろ味がないから、何かそういうところにも・・・

メンバー：

笑

メンバー：

会長、前に銀のお話をされていたじゃないですか？あれはどう・・・

北野会長：

金の上がりよりもね、銀っていうのは何に使われておるかいったらほとんどは消毒薬なの・・・消毒薬は再生できない。銀の消費っていうのは永遠に戦争があればあるほど銀っていうのは消費するがやて。銀の値段・・・いつごろやったかな。何年か前にやっぱり100%ぐらい回った時期があった。ちょっと転がしみたいなの・・・あのときは金がよくなって銀だけが伸びとった。中東、湾岸戦争・・・その時期と同じなんやて。戦争が起きると消毒薬ってものすごいいるんや。イスラムも大事なもんや

真田 孔明：

誰かがもうけている。武器商人が 笑 商人たちが・・・

北野会長：

だから永遠に消費されるものっていうのはやはり強いやろ？

メンバー：

何を買ったら・・・。現物を買うんですか？

北野会長：

銀をちゃんと今、相場であるから。ETFか何かにもあるし、先物もある。あるがやて。だから、なんでも暇なやつはよく知っとる

メンバー：

笑

真田 孔明：

中国は難しいな・・・いろんなあの手、この手を尽くしていろいろやっていたんですけどね。おもちゃとアニメの世界では・・・

北野会長：

なんでも研究やから、あんたも暇はあるがやからまた考えて・・

真田 孔明：

外国人が絡むと難しいのが多いんですよね。現地の人だったらできるけどみたいな

北野会長：

やっぱり現地法人をだからまず買収して、その法人でやっぱりものをやっていかんと。この国はね、やっぱり外部の人はね、排除するシステムになっとるから

真田 孔明：

もう現地の考えとしては内部・・これだけ人口がいるんだから、全部、内部で自足時給できるだろうっていう

北野会長：

外部はいらねえ

真田 孔明：

ただ外部からノウハウを教えてくれるのはノウハウを取られること条件だったらOKなんですよ。もうはっきり言っていました・・国の人が

北野会長：

商売っていうのはほとんどはノウハウやる？やっぱり人口の減らない国で勝負したほうが楽や

真田 孔明：

今ちなみに会長の会社は何をやられているんですか？こっちで

北野会長：

こっちは今、やっぱり宝石っちゅうんか、スワロフスキーのまた、あれをやっとるんでない？きのうもちょっと会って話をしとったんやけど

真田 孔明：

これはあれですか。ダイヤとしてまた売っているんですか？

北野会長：

ダイヤとしては今、売っていない

メンバー：

爆笑

北野会長：

こちらの人たちは5カラットあるものを日本円で65万とかさ、70万で買うがやて。スワロフスキーとは知らんからよ。だから、当時は値段のついていないものを売ったほうがもうかった。ハワイでも洋服でもディスカウント、アバクロとか何か兄弟のなんとかいうの・・

真田 孔明：

イーグルみたいな

北野会長：

あれを・・フォレスター！あれが本当にばかのように売れた。やっぱり数がおるから・・

真田 孔明：

どこに売りに行くんですか？それ？

北野会長：

上海へ送るところまでは俺、知っとるんやけど、そこから先は友達いっぱいおるやろ？大学の人っていうのはね。西安にもおるし。どこかあっこにも、ここにもおるんやて。それをみんな友達でそういうことを、要は結局、売り歩いておるちゃうかさ

真田 孔明：

大学同士で・・チームメイトとかそういうの・・

北野会長：

それで売っとるんじゃない？結局、この場合は人口密度が多いから値段を下げると全部、完売になるんやて。だから、ここも一時はかなり甘かったんやど、今は今度、メーカーが直接、こちらで売ようになる。そうすると何か変にハワイにバーゲン商品ががよけい出とると・・どこか流れとるんでないか？こうなるがやて・・今度、メーカーから見ると。そうすると、また足から・・足がつくいうぐらいで・・

真田 孔明：

通関でチェックするようになっちゃうんですかね？そこまではない？

北野会長：

それはねえんやけど。これだけ物流の多い国やから結構な抜け道はあるんやけど。そういう長続きはせんな。本当にだから一瞬

真田 孔明：

もう2006年で法律が変わっちゃったんで輸入商品のね、やつが本当に難しくなっちゃったんですよね

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

CCCっていうやつができちゃって・・・工場検査が全部、入らなきゃだめになっちゃったので・・・あそこから変わっちゃったよな

北野会長：

でも完成品についてはね、結構・・・

真田 孔明：

2007年からか・・・

北野会長：

逃げ道はあったんやけど。だからちょうど爆買いって言われとる上海近辺の人が金持ちになり始めたときにああいうばかな値段で物が売れたっていう一つの・・・

真田 孔明：

スワロスキーが、もう何十万で・・・あれは。僕はダイヤとして売って、外でお金を何か出してあげているのかなと思ったんだけど、そういうのじゃないんですよね？

北野会長：

ただ正當に

真田 孔明：

本当にダイヤとして？

北野会長：

値段はつけていなかったから買った人が60万なら買うとかさ。そういうので結局、回ったんでない？

真田 孔明：

不思議ですね。なんと言って売っていたんですかね？

北野会長：

俺、中国語、全然わからないもん 笑

真田 孔明：

なぞが多いですよ

北野会長：

そういうときは別に申告しとるわけでないから、金さえもうかっとりゃええわ、みたような感じや

真田 孔明：

ちなみに地方で稼いだお金はどこに引き上げるんですか？どこでもらえるんですか・・・会長は？

北野会長：

こっちで

真田 孔明：

こっちで？こっちの口座で？ちゃんと振り込んできてくれるんですね？

北野会長：

振り込んで・・・現金で集めるが。またブーム証券に弾を入れて・・・

北野会長：

中国で入れたお金って出せないじゃないですか？なかなか外に・・・

北野会長：

なんでね。こっちの名義のやつにしておきゃ一緒や

真田 孔明：

ずっと・・・クレジットカードとかまた

北野会長：

だから、日本で買うのはブーム証券で買い集めていくと。こっちで買うやつはばらばら・・・だから汽車とかさ、自動車、白物家電、列を決めて買っていくがやて・・・列。俺の場合はそんな難しいことはわからないから読めないもん。あんなもん・・・日本語で。だから、長城汽車とか言って、俺は長城汽車で覚えとるだけで。全然、読めないやて。こっちの読みが全然、違うやろ？そういうことが多いね。今はだから、今度、赤い紙に今度、変換してさ。変換してからやるから勝負は。赤い紙に書いてまた次の・・・

真田 孔明：

それでもよく中国で裏切られないでやっていますよね？現地に誰か・・・

北野会長：

全然そんなことないんやけど。たまたま日本語をしゃべれる人と会って、その話を持ち掛けたらぜひさせてくださいみたいなこと

真田 孔明：

結構、日本語をぺらぺらしゃべる中国人と、中国語をぺらぺらしゃべる日本人は信じられない
ねって中国でよく話していたんですけど 笑

北野会長：

それは人間によってやから

真田 孔明：

よくぱっと一発で。直観でやっぱりこの人、大丈夫だみたいな・・

北野会長：

何かそんなような感じがしたから・・もう3階建てのビルを持っとるよ・・彼は

真田 孔明：

会長と仕事を一緒にやって？

北野会長：

そう、この間、僕も冠を買いましたみたいなこと言ってきて。「よかったねって。頑張って金
もうけてよ、考えてよって・・」俺が考えるよりいいやて、現地におるわけやから

真田 孔明：

それで今はどういうあれで会長は、もらわれてるんですか？何パーセントもらうとかそういう
のじゃないんですか？

北野会長：

何パーセントじゃないよ。あれはどれぐらいくれとるのか全然、くれとるっていうことは上が
りが俺のところにあるわけやから、彼は計算はちゃんとしてそんなところでごまかしとるやつ
は長続きせんもんや

真田 孔明：

すごいですね。それでも

北野会長：

どれだけやってると思って・・

真田 孔明：

日本人でもそういうのをごまかすのに・・笑

北野会長：

だから、もともと真面目な人っていうのは上海大学かどこか出て真面目な性格の人やから、真面目に人も使う

真田 孔明：

直観でぱっとわかっちゃうんだな・・

北野会長：

日本の経営者なんて全部、あれ大学出のもんばかりでやっとなるよ。だから人は信用して付き合わないとあかん。信用が一番。全部、任せておいても・・いつも会社をやっていると思う・・みんな訳のわからんさ、お前、社長でこれマンションをやっとけとかさ、ショッピングモールを頼むよとか言うとなるんやけど、考えてみな、売上はわかってしまつとなるや・・契約書上ね。全部、先生のところへ行くわけや。経費も伝票つきで先生のところに行くわけや。エクセルか何かで集計したものが行くわけなんやで、どこでごまかす。俺なら修繕費とかなんとかさ 笑 それはね、まだその下の人はそこまでね、知恵がないんや

真田 孔明：

でも、中国の場合とか海外でやられる場合っていうのはどこそういうのを見るんですか？

北野会長：

ただその物の売値、チェックをかけて売れていくやろ？最後に残ったらどうしますかいうて・・捨てようと何しようとかね。ばった売りしようとか何しようとかさ。在庫がなければそれでいいがやから・・在庫があったほうが一番、弱るのは俺が弱るわけやないかい。一番いいのはないほうが一番いい。証拠やもん

真田 孔明：

こっちの会社は会長の名前とか入っているんですか？

北野会長：

入っていないよ

真田 孔明：

入っていない

北野会長：

俺はただノウハウと償還いう売上傳票ね。つくる機械とフロッピーやね。それを与えておるだけや。あれはただボタンを押せば出てくるんがやから・・売上がちゃかちゃかちゃ。あとは領収書やて。漢字と片仮名と両方、組み合わせ全然わからんて・・そんなもん何が何かいうて。3年から5年たったら俺に言わせたらね、会社の社名を変えていけやいいて。そんなね、難しいこと考えとったらね、長生きできんやろ？

真田 孔明：

中国でも現地では引っ張っているんですか？お金を・・銀行から・・そのパートナーは・・

北野会長：

全然

真田 孔明：

引っ張らないで普通に？

北野会長：

スポンサーおるもん・・ここに。金っていないもんやて・・物さえ与えておきゃ売っていくだけやもん

真田 孔明：

物は海外から持って来て

北野会長：

そうそう。こっちでも薬でも売ろうかなと思っとるぐらいなんだけど。何か、薬事法が引っかかっとなって危ないやて

真田 孔明：

物はどこで渡しているんですか？このパートナーに

北野会長：

送るんやて

真田 孔明：

中国に？ぽんと？

北野会長：

ぽんと

真田 孔明：

段ボールとかで

北野会長：

段ボールで十分

真田 孔明：

通関は大丈夫なんですかね？

北野会長：

全然、問題ない

真田 孔明：

普通に個人郵便みたいな感じで送っちゃうんですよね？ぱんぱんと、もうさらっと、まともにやらないで・・・まともにやるとだってチェックがすごいですからね？こっち・・・

北野会長：

株式会社みたいなことを書くと全部、引っかかるよ

真田 孔明：

個人名で送っちゃうの？

北野会長：

個人名

真田 孔明：

バラバラに？

北野会長：

そうそう・・・簡単やて

真田 孔明：

弾は会長たちが送っているから

北野会長：

なんで？弾はいうて・・・お金を送るわけない、物を送るだけやから

真田 孔明：

弾っていうか物を送っているから彼はそこで買うしかないですよね？買って売るしかないですよ？なるほど・・・

北野会長：

物販よ

真田 孔明：

物販ですよね。本当に物販をやっているんですよね

真田 孔明：

マイナンバー制どうなんだろう。海外居住者はどうなっちゃうんですかね

メンバー：

どうですかね？

北野会長：

一元管理やろ

メンバー：

早いんですかね？

北野会長：

早い・・・もう

メンバー：

一気にきますかね？

北野会長：

もう今、売り込みをNがかけとるとすれば一気にやわ。あんなもんデータベースに打ち込めばそれで終わりやから

真田 孔明：

もしかしたら海外居住者も日本で口座を本当は持ちたいみたいなのがあるじゃないですか？今まで暗黙だったじゃないですか？何か・・・

メンバー：

結構、ほんとここ1、2カ月ぐらい僕らの税務の雑誌とかですごいそのセミナーとか出てる

真田 孔明：

マイナンバー制の？例えば海外居住者ってどうなっちゃうんですかね？マイナンバー。どうやってとるんですかね。逆に・・・住所ないじゃないですか

メンバー：

まだ口座はあれじゃないですか。まだ任意なんですよ。何年以降は義務になるけどという

真田 孔明：

それまでに何か処理しておかないといけないんですね

メンバー：

まだそこまでは、義務になるまでは多分、猶予期間があるのでしょうか・・・

北野会長：

今度、銀行の寄せ集めでさ、コンピューターおるやろ？あんたに日本の番号を担がせるやろ？
海外の宿も全部、出てくるがやて。全部、集計されて・・・はい、どこの銀行にちゃちゃちゃちゃ
ちゃって終わりや

真田 孔明：

終わりですよ・・・そのときには素直に嫁さんとか、日本居住者にしておいて。普通にやらせて
おいたほうがいいですよ。僕だけ海外で・・・僕、名義の売上は何も上がらないようにし
て・・・どこも

北野会長：

そのうち逮捕状出て 笑 大丈夫や、大丈夫やてさ。ああいうのもね、ある日、突然、来るか
らね

メンバー：

早いですよ。いつの間に法律を通したんですかね？OKって言っていないですよ

真田 孔明：

誰もね。怖いですよ

メンバー：

議論もほとんどなかった

真田 孔明：

何もないですよ

北野会長：

だから東京。港区の市民税が4分の1ぐらいに減ったと。なぜかって調査したら官庁へ勤めとっ
た人、霞が関へ勤めとった人が港区におったと。その人がみんな居住地を移した。一番大きかっ
たのはマレーシアや・・・データが出てしまった。だから、今度、日本はマレーシアと提携して
銀行を全部、開示しなさいとこうなるとるわけ。なんでもばれるのも時間の問題やと・・・

真田 孔明：

今までマレーシアはイスラム金融で安全でなんかかんとかって言っていましたもんね？誰か

北野会長：

マレーシアも金を持ってくる人はお客さんやから、いらしゃい、いらっしゃいやろ？中国の元も今、中国人がものすごい買い込んどるやねん・・マレーシアを。だから、結局は同じになるんでない？ただ、この人は管理は俺はできんと思う・・ここは・・失礼やけど。数が多いし、よく似た名前が氾濫しとる。だから、抜け道はここにしかないんでないかなと・・ここかインドやろ？インドの産業もかなり伸びていく感じやし、人口もここを超えるらしいから

真田 孔明：

でもインドよりやっぱり中国ほうが自由度は高いですね。僕、インドにも商品を行って売ってきたんですけど。あそこでも、結構むちゃくちゃなんですね。土地から土地に移動するだけでも税金が発生したりとかね。もうやたらいろんな変なローカルルールがいっぱいあるんですね

北野会長：

だから正しくやって抜けられる国ってもうないんやて。正しいだけでは生きていけんいうこと・・

真田 孔明：

あのときは会社としてやっていたから正しいことしかできないですもんね。逆に言うとね。インドなんか行くとごちゃごちゃしていて、あれがちょっとね、辛いですね。本当に人口がうわっともう。中国、今こんなにきれいになっちゃいましたけど、インドってなるのかな？

北野会長：

あっちゅう間や

真田 孔明：

あっという間ですかね？いざとなったら

北野会長：

ジョホールバルも鉄板焼きやいうて、あの言葉にだまされて買ったけど

真田 孔明：

ちょっと人口がぐわって。でも、やっぱりシンガポールは本当に高くなってきているんでね。まだまだ。流れますよね、JBに

北野会長：

流れるがやね、水は一緒やて。高いところから低いところに流れるがやから、銭も一緒や・・流れる

真田 孔明：

ポイントは僕が行く料理店の店員はみんなジョホールバルに住んでいるんですよ。ああいうブルーワーカーがいないんですよ。シンガポール人で。シンガポール人はこっちやっている人なんで・・・みんな。現地の立っている、目に入る、立っている人たちは全員、ジョホールバルなんですよ

メンバー：

バイクで行っちゃうんですか？

真田 孔明：

バイクとか、バスとか。毎日大移動。もしくは、ちょっと端っこのほうに住んでいるとか・・・シンガポールに・・・週に何度か。もちろん居住じゃなくてね。たまに帰って。週末だけ帰ってみたい。シンガポールの若い人なんて絶対に買えないんだから。シンガポールのマンション

北野会長：

わしら今度、弁護士さんと経理士さんと司法書士さんと合わせてラオス、ミャンマー。金持島、何とかいう島あるや・・・ミャンマーに・・・モルジブの近くに

真田 孔明：

ミャンマーにですか？

北野会長：

それを中国が道をつける言うとする。だから恐らくラオスを通るからラオスのあそこらが、これから抜け道になるんでない？法整備がないから。あそこがだからおもしろくないかな？毎日、だから司法書士さん、弁護士さんとかさ、そういう人たちと遊んどらんと日々はうまくいかなのやて

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

わしらだからミャンマーに入ったときに、また、ミャンマーにブッタが立っておる。金色のぴかぴかのね。あの中に、こんな宝石いっぱい・・・一番頂上に・・・全部あの中に置いてあるんや

真田 孔明：

宝石が？

北野会長：

そう、宝石。それがあのブッタをウンボを持って行って壊しに行くか 笑 あの何とかいう川に子供たちが海水浴するやろ？川で・・・そのときに何か土砂災害があるたびに下に流れてくる

のやと。ルビーやとか。要は芸能人が山に行って掘っとったらルビーで出てきたとかさ、記念の結婚指輪とかいってやっとなん？日本でも特集。これ、山ほどあるが、インドに行ったらもっと・・・

メンバー：

アメリカにいたときも大雨が降ったあとはダイヤモンドが・・・

北野会長：

だから、ユニボも。俺はだから知り合いの機械のリース屋さんに、お前、どっちみちほっばってあるくだけやから船で運んであちらでさ、どんどこどんどこ川を掘れば手から見たら大きいやろ？あれが一番もうかるんでないかなと 笑 ものすごい安いね。10カラットのルビーでインドで20万そこそこで買える。10カラットで・・・それが何かインドのこっち系が全部、扱ってる

真田 孔明：

外に出すの大変そうじゃないですか？

北野会長：

ガムのあの銀紙に包んだら映らないんやと・・・おじさん、そう言っているたもんでその銀紙に包んで3本、持ってきたけど・・・

真田 孔明：

持ってきたんですか？

北野会長：

持ってきた

北野会長：

やってみたんですね

北野会長：

一応、何でも練習やなと思って。いろいろ企業努力はしとる 笑 ただ遊んどるだけではねえ

真田 孔明：

じゃあインドに行かれたんですか？インドに・・・

北野会長：

インドは何度も行っとる

真田 孔明：

でもフィリピンは行かれていないですよね？

北野会長：

フィリピンはね、思い出があまりよくねえ

真田 孔明：

インドの現地なんて女性の人と会って何か・・・

北野会長：

ヒンズーやから。女性や言うたって映像で映せばみんなきれいやけど

真田 孔明：

インドのね

北野会長：

掘りも深くていいんやけど、風呂に入っていないやろ？もう、何か女性がチーズをつくっとる工場みたいなようなにおい。かなり顔を渋くなるとるよ・・・本当にそんなの。汽車の線路あるやろ？女の人はずらっと長いスカートみたいなのはいてさ、みんなおしっこをしとるんやから・・・それがもう普通やろ？あれを見たら何となくしんどいよね。どう思う？

真田 孔明：

よくでも、日本。毎月のように日本人が、女性がレイプされていますよね？何か載っていませんか？ヤフーとかに・・・インドで、邦人女性レイプって。怖いですね、あれ

北野会長：

やっぱり向うの人にすると浅黒いからまた食べやすい。数も多いから・・・むちゃくちゃやよ。何か2メートルぐらいの天井の部屋。子供、大体10人以上は出てくるからね。ものすごい・・・数は

真田 孔明：

インドの順番の並び方とか現地ルールおもしろいんですよね。ぴったりくっつくんですよね、全員。おっちゃんがぴったりくっついてくる。笑 間の・・・あけちゃいけないんですよ、あれ。全員ぴったり・・・間に人が入ってこないように。人が多いから。人がちょっとでもすきがあるとそこに入ってきちゃうから。それで究極がもうぴったりになった・・・全員 笑 みんな、おっちゃんたちとくっついて・・・現地。並ぶときには・・・

メンバー：

笑

真田 孔明：

並ぶラーメン屋とかもしあったら・・・ずっとこの鼻息が 笑

北野会長：

トイレなんて入られん

真田 孔明：

多すぎて・・・人数が

北野会長：

本当にね、数が半端じゃないからあのふえ方やからさ・・・対応できない。ああいうのを見たらもうインドはちょっとって感じがね

真田 孔明：

ちょっと引いちゃいますよね？僕が行ったのが2005年ぐらいだと思うんですけど。4年、5年。何か仙人がいっぱい歩いているんですよ。生まれてから1回も髪の毛を切ったことがない人が、髪の毛をずっと引きずりながら歩いているんですよ。でも、これがね、2011年に平城さんたちともう1回行ったんですよ。そうしたらね、そういう人たちいなくなって、みんな髪の毛がね、ばっさり短くなっていたんですよ

メンバー：

仙人がいなくなった。

真田 孔明：

仙人がいなくなった。すごい進化したなと思いました。同じ場所にちょうど行って・・・シャングリラホテルがあるんですよ。そこ。チェンナイっていうところで。シャングリラの外が全部、仙人だったんですけど。仙人が消えていたんですよ・・・びっくりした・・・2012年

北野会長：

牛のふんを丸めてさ、牛は神様やから・・・高速道路あるやろ？その間に路肩がある・・・真ん中に。これ全部、積み立ててさ、ブッタみたいなのとる・・・積み立てて、この丸いやつを。それを冬になったら燃料にして使うんやて。あれすごいよね

真田 孔明：

何の燃料にするんですか？燃やす燃料？

北野会長：

燃やして、それで煮炊きをするがやて。全部、牛のふんやよ。あれを見たとき本当に何かこの国はちょっと異常やなと思ったけど・・・これが当たり前です。高速道路で牛が歩いておるやろ？みんな車がとまる・・・ひいいたらものすごい懲役が長いんやからね、あれ

真田 孔明：

会長よくインドとか行かれる気持ちになりましたね？

北野会長：

俺やる？暇やからさ。暇っちゃ怖いもんでね。何か友達がルビー・・・ルーツを見つけたからちょっと一緒に行かんいうてさ。拳銃でも持っていかんと、お前、怖いところ・・・って言うたんやけど、行ったらね、結構、日本語もしゃべるおやじでさ・・・それこそ、金ぴか・・・

真田 孔明：

金を持っていそうな感じで

北野会長：

そうそう・・・「いいですよ～」みたいなような感じやったよ。スタールビーとか・・・スタールビーなんてあっちで俺、初めて見たけどすごい。キャッツアイの親戚みたいなような顔をしとるね。すごいきれいやった。いろいろ研究しとるわけよ。銀紙に包んでさ・・・お持ち帰りで。ちょうどね、10カラットぐらいだと銀紙で包んで大丈夫

真田 孔明：

10カラット

北野会長：

それよりミャンマーに入ったときにもっといい石がたくさんあった。子供が拾ってくるいう石ね・・・安いんやて

真田 孔明：

子供から買ってあげるんですか？

北野会長：

現地のじいちゃん、ばあちゃんから買うとね、何せ2,000円か3,000円ほど。日本円にしたら

真田 孔明：

それが本当の価値だと・・・

北野会長：

原石や。だから俺、ウンボを持って行って。あっこで。誰かに。子供にさ・・・

真田 孔明：

それ、きれいにやるといくらぐらになるんですかね？その2,000円で買ったやつ

北野会長：

やっぱりルビーの値段やから二、三十万には化けるんでない？最低

真田 孔明：

錬金術・・・100倍

北野会長：

日本のやつに見せたら、まあ、東京で売れば二～三百には最低、売れるでしょみたいなことを言うたから、これは甘い仕事でないかなと

真田 孔明：

1000倍・・・1000倍か・・・

北野会長：

でも、インドのやつはもうきれいにカットしてあるから・・・石だけ。結構、出入りしとるんでない？日本人は・・・甘いのはさ・・・

真田 孔明：

インドにウェブ系の仕事を出したら1個も完成してこなかった・・・2011年に。それも2011年。全部、2011年なのね。インドにウェブサイトをつくるのに何社か回って行って。平城さんと、インドに。あと、うちの宮本君と・・・それで2社に仕事を出してみたんですよ。Facebookと同じようなやつをつくらうとしたんです。それを個人でFacebookをアカウントをつくれるやつをつくらうとして。マイSNSみたいな。見事に失敗しましたね。みんなね、できる、できるって言うんですよ。インド人って。うちはできる、できる。返事はね、100パーできるって言うんですよ。でも、どこもできないです。これ石ころとかは、これ物に価値があるからいいですよ

北野会長：

そうそう。危険は危険みたいね。俺、ミャンマーのときに金を集めて・・・集めたんやて。あんまり安かったんで。本当にホンマもんか全然わからないし、金は余っとるんやから、ま、袋にでも入れて、最後に出て行こうかなと思ったときにこれ引っかけたら懲役20年ぐらいですよみたいなことを言うがじゃ。俺、20年ちゃ、ちょっと・・・

真田 孔明：

しかも現地でですもんね

北野会長：

弁護士もきかんしさ・・・ちょっと弁護士さんにも相談したんやけど、やっぱりやめたほうが、万が一あってもさ

真田 孔明：

そのときいくら分、買っちゃったんですか？

北野会長：

いやいや、何十万の銭よ。カンボジアでもだからドルに換えて、1ドルに換えてさ。子供を集めてこうやって1ドル、配っとるやて・・・アンコールワットの前で。山ほど集まってくるよ・・・人ばかり

真田 孔明：

それは何のためですか？カンボジアは・・・石ころを持ってきて？

北野会長：

撒き餌やないか・・・一番早いのは金をまいてみればすぐにわかるよ。ミャンマーでもいつもそういうことばかりやとる

真田 孔明：

まいてみると何がわかるんです？

北野会長：

人の心がわかる。最初、子供しか出てこないんやけど、最後になったらね、一番・・・大人おるやろ？大人もちゃんと順番についとるんやて。あとはだから、何かあるっていうのを探せばいい。知らない？そんな商売？わしら商売人やから、やっぱりそういうことばかり研究しとるね

真田 孔明：

1ドルをまいて・・・

北野会長：

金をまくとね、人が寄ってくるやて・・・まず。まず子供が寄るがやて。子供は、ほらくったくのない目でもらうから・・・こっちもあげとるだけやから

真田 孔明：

1ドルを

北野会長：

そうそう、どんとあげるやて。大人になってくるやろ？そうしたら何でも情報が入ってくる・・・そういう順番やろ？昔、どういのか、かわからなかったときに子供に下で何かこうやって模様を描いたら何、言う言葉を教えてくれたっていうぐらい子供っていうのは知恵があるわけやないかい。同じやて・・・そんなもん

真田 孔明：

いくら、ばらまくんですか？大体

北野会長：

いくらって・・・換えた銭、みんな。使いようがないよ。女郎買いしとらん、金なんて使いようない、あんなところで・・・本当に。それしとったらね、危険なだけやし。インドとか絶対にそういうことをせんほうがいい

真田 孔明：

何百枚かで・・・

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

長蛇の列なんですか？

北野会長：

すぐや、あの国でお金を見せて子供にこうやって1枚、2枚ってやっていると、周りにおる子供、全部集まるし

真田 孔明：

確かに5万円ぐらいでも500枚、配れますもんね

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

500人が並んでくるんですね

北野会長：

ルピーか何か・・・ルピーやったっけ？あれをまいとったらもう山ほどや・・・

真田 孔明：

それを集めて何をするんですか？情報って

北野会長：

まずは情報やないか。あとはだから聞けばええんや

真田 孔明：

どこかで何かを・・

北野会長：

何かないか？とかさ。金目のものないか言えばすぐ、現地の人は金ほしいからすぐに言うがやて・・なんでも

真田 孔明：

私に任せてとか

北野会長：

そうそう、知っていることはみんな言うがやて。あとは集める・・今度

メンバー：

情報収集

真田 孔明：

たった5万円とかで500USDとかで。

北野会長：

こっちはたった5万円やけど、向うにしたらものすごい莫大な大金のがやて・・だから、村長さんにたどり着いて。石ないかみたいなこと言うとりんや。全然、会話を全く聞かなくてもすぐにわかる。相手は・・ほしいんやな？っていうのはね

真田 孔明：

それはそういうわさのある地域に行くんですね？そういう

北野会長：

だからまず子供にえさをまいておくと大人が信用するがやて。だから、金を持つというのが信用になるやろ？子供に何もね、見返りのない金をばらまいとりんやから

真田 孔明：

それもちっとまたおもしろい 笑 なぜ会長がばらまくのか・・

北野会長：

でも魚を釣るときも同じなんよ・・撒き餌。あれをなんで下へ落とすかいうとエビがぱらぱらと落ちてくるわけやないかい。だから、近所の魚をまず集まるわけやろ。その小魚が集まるとるいうて大きな魚がそれを見つけてくるわけよ。釣りっていうのは基本的にはみんなそう。私はただ釣りの原理をやっとりんだけ

真田 孔明：

それでインドとミャンマーとカンボジアとかでやられたんですか・・・それ？

北野会長：

そうそう。フィリピンでも昔やとったんやけどね

真田 孔明：

フィリピンも昔、行かれたんですね？

北野会長：

フィリピンはわしの友達があっこに、何やったっけ？一番、繁華街に1000坪ぐらいのところ
に家を1軒買って。みんなそこで・・・そこにいつも遊びに行っとった。その人も飛んでしまった
けど。パスポートを落とすものの、警察の調書はわからなくてパスポートの発行、あそこは全
部が警察社会やろ？そしたら何か融通をきかせてくれたら全部チップなんやて・・・私が行っとっ
たフィリピンは。だから、遊びすぎもよくない。それから見たらこの中東アジアはマナーがい
い。フィリピンから比べると危険でないし

真田 孔明：

フィリピンは何かちょっと怖いですよ？いまだにね。鉄砲社会だから怖い

北野会長：

危険

メンバー：

フィリピンでラーメン屋をやろうと思っているんですけど

北野会長：

ラーメン屋

メンバー：

ラーメンをできる人をつかまえて

北野会長：

だからラーメン屋とかはやっぱ自分は働かなくてできる商売やから・・・ラーメン屋、カレー
屋ね。うちのテナントさんを見とるとラーメン屋、カレー屋が多いね。今はやっぱしブームと
しては寿司屋でしょ

メンバー：

はい

北野会長：

食べ物の商売で当たるとやっぱり大きいんでない。きのうここで話していた上海の人間に言わせると、日本の水商売のノウハウがほしいみたいなことを言っていたけど。何で上海なんか飲み屋、いっぱいあるのに。上海の飲み屋ってカツアゲ商売のクラブなんやと。それだとやっぱり継続はできないし、あまり儲からんのでない？日本の水商売っていうのは違うやろ。継続してある、いつ行っても何かクラブは残っとると。いうのを何か習いたいみたいなことを言っていたけど・・・今、何時なのよ？

真田 孔明：

今、12時11分です

北野会長：

本当？解散しよ。みんな近くなの？

メンバー：

ありがとうございました